

## ことば編⑤

質問しても「わかんない」しか言わない子って



### どんな時？こんな理由かな？

- 疑問詞（「だれ・どこ」など）の理解が難しく何を質問されているのかわかっていない。
- ▲ 質問に対してどのように答えたらよいのか分からない。
- 質問をしっかりと聞いていない。
- ◎ 質問された内容の理解が難しい。



### こんな支援が助かります！

- 日常生活の中で、疑問詞に対してどのように答えるのか聞かせてあげましょう。関わる大人が、「どこに行く？公園に行こう。」「誰と一緒に行く？パパと行こう。」というように、「どこ」に対しては「場所」を答える、「誰」に対しては「人」を答えるというように、疑問詞に対する答え方の例を聞かせてあげましょう。
- ▲ 何を聞かれているかはわかっているけれど、どう答えてよいか分からない可能性があります。そのような時には、「何が食べたい？カレー？焼きそば？」のように選択肢をあげて答え方の例を示してあげたり、画像で見せてあげたりすると答えやすくなります。
- 「〇〇ちゃん、しっかりと聞いてね。」など、お子さんの視界に入り込んで注意をしっかりと引き付けてから話しかけましょう。
- ◎ お子さんの分かることば、分かる文の長さで伝えてあげましょう。

### 考え方のヒント

疑問詞には、「なに、誰、どこ、いつ、どうやって、なぜ」などがあります。

「なに」と聞くようになると、ものの名前が増えていく時期になり、

「どうやって、なぜ」と因果関係を問う疑問詞が出てくると、大人の回答を聞きながら、より複雑な思考をことばで表現できるようになっていきます。日々の生活の中で行っていることの原因を大人が意識して聞かせてあげると、説明が上手になっていきます。

例：手を洗うよ。手についたばい菌が口から体に入って病気にならないようにするためにね。

参照：「質問したことばから答えがずれる子って」の考え方のヒント